

今回は、本年度の研修の様子や感想をピックアップして報告します。ぜひ来年の研修希望のときに参考にしてください。
(★研修の後のアンケートから抜粋させていただきました。)

【中学校国語科研修から】

5月12日、仙台市中学校教育研究会国語部会との共催で行われました。文部科学省教科調査官の杉本直美氏をお迎えし、「生徒が主体的に取り組む国語科の授業づくり」と題して、今、求められる国語の力、発展的な学習指導の方策、生徒との関わり方の見直し、教員として学び合う必要性などを御講義いただきました。

★『「試行錯誤できるゆとりがあるか。』『見通しを持つことが主体的な活動につながる』』ということを中心に留めて授業をつくっていききたいと思いました。」「自分の日頃の指導への姿勢を振り返ることができ、アクティブ・ラーニングの具体像が自分の中で明確になりました。」

【5年次ブロック研修から】

5年次と1年次の先生が「共に学ぶ」ことを目的に、5年次の先生がリーダー、授業者となり、ブロックのメンバーで役割を分担して「授業研究」を行いました。



★準備の進め方や様々な配慮など、運営する側になって初めて見えてくるものがたくさんあり、大変勉強になりました。(5年次教員)
★5年次の先生方にたくさん動いていただき、感謝しています。自分も4年後に先輩たちのようになれるように、校内で自分から動けるようになりたいと思います。(1年次教員)

【防災主任研修から】

10月21日、東北大学災害科学国際研究所の佐藤健教授に各地域の自然や歴史を生かした防災教育について講義をしていただき、第2部では、防災教育の取組を3校の先生方に発表していただきました。第3部は、情報交換を行いました。



★「地域を知ることが防災に確実に結びつくことが理解できた。」「地域の素材を集めて教材化してみたいと思った。」「地形や地名、漢字など子供たちも興味を持ちそうな内容だった。」「南中山小の発表で、各地の津波到達地点の高さを窓ガラスに貼ってある取組はおもしろいと思った。」「情報交換で小中連携の取組が参考になった。」

【フレッシュ先生4年次研修から】

1月16日の第2回フレッシュ先生4年次研修をもって、4年間に渡る全22回のフレッシュ先生研修が終了しました。閉講式では、代表2名が、それぞれ次のような言葉を述べました。

★これからも様々な人との出会いを大切に、その出会いの中で多くのことを積極的に吸収していきたいです。(4年次小学校教諭)
★今後も、人と人とのつながりや、生徒や先生方との出会いを大切に、「学び続ける教員」でありたいと思います。(4年次中学校教諭)



【情報教育研修から】

本年度は情報モラル教育についての研修を3回行いました。児童・生徒への注意喚起はもちろん、家庭との連携という視点もあり、受講された先生方から好評を得ました。

★「情報モラルの具体的な指導の在り方等を教えてもらって良かった。講師の先生のスライドも充実していた。」「様々な事例が詳しく説明され、また、すぐに活用可能なデータをいただくことができてよかった。」「スマホの便利さと危険性が明確になってきた。特に、なぜ危険なのかが、具体例をいくつも示してもらったのでよく分かった。」「疑似体験アプリを体験できたことは、すごく勉強になった。」

【人権教育研修から】

10月18日、宮城教育大学の本図愛美教授を迎え、いじめ問題の現状や法的根拠に関する講義と、参加者の事例を基に望ましい対応を考えるインシデント分析を行いました。



★「きれいごとだけでなく、実際の事例やアドバイスをいただき、とても励みになりました。」「自分自身の事例を検討していただき、参考になることが多くありました。」「いじめ問題に対して孤軍奮闘せず、チームで対応することの大切さを肝に銘じ、実践していきたい。」「最後のDVDの内容に感動。」

【明日の授業にセンターHPの活用を】



センターHPに「学校支援」のページがあります。教育課程に関する資料や仙台版スタンダードカリキュラム、各教科・領域のページを閲覧することができます。授業づくりに役立つ情報がたくさんありますので、ぜひ教材研究や授業準備に御活用ください。

ちょっと一息【道徳コーナー】No.11

道徳科における質の高い多様な指導法の例①

読み物教材での登場人物の判断や心情を、自分との関わりで多面的・多角的に考える。

登場人物の心情理解のみの指導にならないように、道徳的価値を自分との関わりで考えられる発問を設定します。

登場人物への共感や批判、投影など自分の考えや気持ちを率直に語らせながら、道徳的価値の理解を深めます。



【教育センターはOJTで学び続ける教師を応援します！】